

ちゅうらくやまいせき

中楽山遺跡(第2次調査)

やよいじだい はか ほうけいしゅうこう ぼ たてあなたてもの
弥生時代のお墓(方形周溝墓)や 竪穴建物が見つかりました

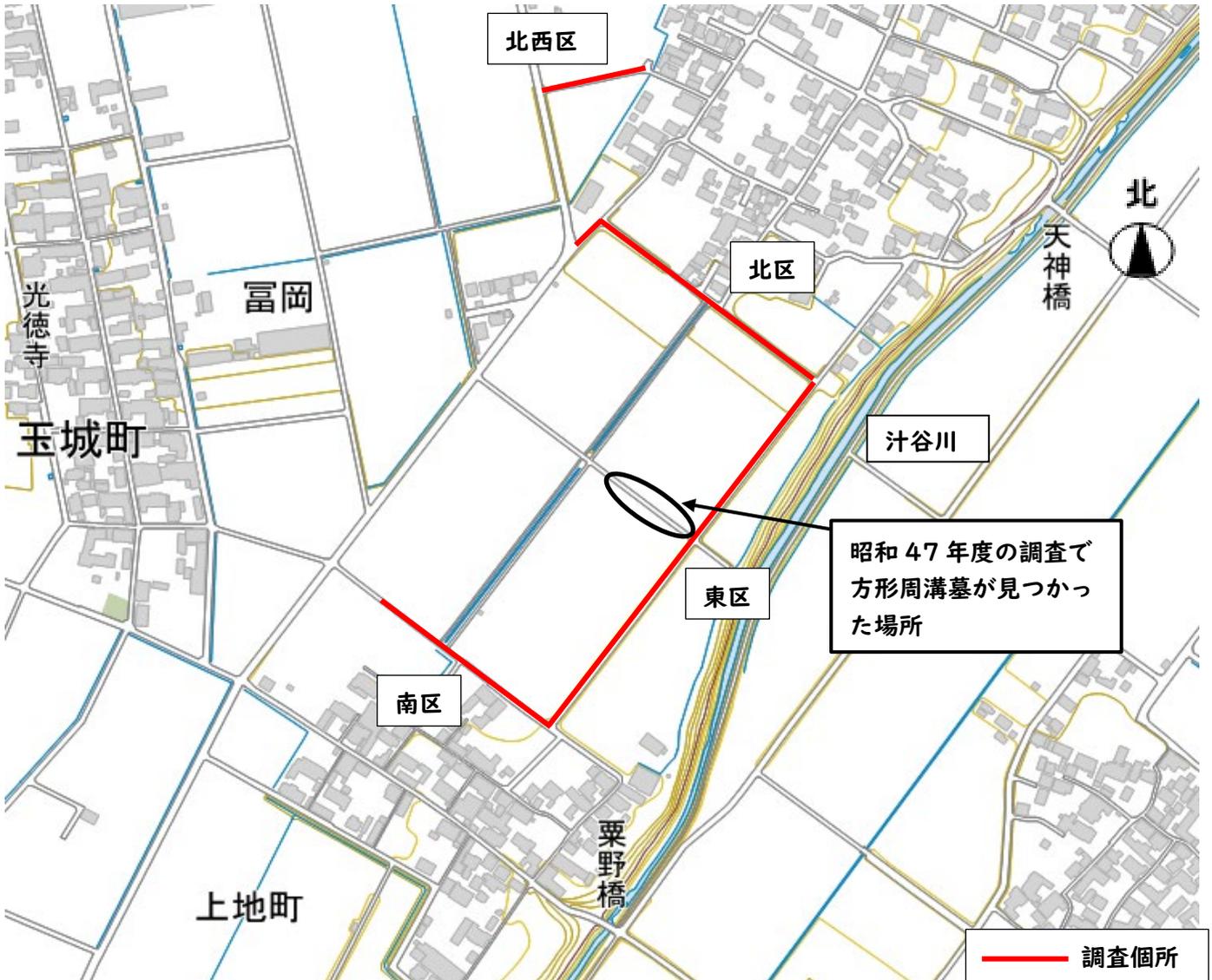


図1 三重県市町共有デジタル地図を加工して作成

10月15日(火)に中楽山遺跡の発掘調査を開始しました。今回の調査は、道路を約1mの幅で740mほど掘る予定です。現在、東区と北西区の調査が終わりました。

東区では、方形周溝墓が7基以上と弥生土器などが見つかりました。方形周溝墓は、溝が方形(四角形)にめぐる弥生時代のお墓です。写真1は、東区で見つかった方形周溝墓です。分かりにくいかもしれませんが、くぼんでいる部分がお墓の溝です。東区の北西側で昭和47年度に行われた調査でも方形周溝墓が見つかったことから、東区周辺には弥生時代のお墓が広がっているのかもしれませんが、また、方形周溝墓の溝からは、赤色顔料が付着した土器(写真2・3)も見つかりました。



写真1 方形周溝墓(点線が周溝の幅)

北西区では、弥生時代から古墳時代にかけての^{やよいじだい} 堅穴建物^{こふん}が3棟見つかりました。そのうちの1棟が写真4です。写真4の堅穴建物からは、壁^{へき}周溝^{しゅうこう}という壁際^{かべぎわ}の溝^{みぞ}が見つかりました。また、床面^{ゆかめん}の一部^{かた}が硬くなっていることも確認^{かくにん}しました。

今後の調査^{しんてん}の進展^{きたい}にご期待^{きたい}ください。



写真2 方形周溝墓出土土器



写真4 堅穴建物(点線が堅穴建物の範囲)



写真3 方形周溝墓出土土器

問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503 三重県埋蔵文化財センター

担当:調査研究Ⅰ課 電話: 0596-52-7028 FAX: 0596-52-7035